

公開コンペ「はなれてつなぐ」

神戸大学工学部オープンスペースへの提案募集

現在、コロナウイルス感染症対策の一環として、密閉空間、密集場所、密接場面といういわゆる3密を避けることが要請されています。過去のパンデミックの歴史に学べば、このような制限は長期間広範囲にわたって続くことが予想され、COVID-19出現前の世界には戻らないことも考えられます。これまでの空間デザインでは、つながり・にぎわい・ふれあいを積極的に生み出すアイデアが好ましいものとして高く評価されてきましたが、これらは3密と対するものであり、空間デザインは今後パラダイムシフトを迎えると考えられます。

本コンペティションは、大学キャンパスという地域の憩いの場でありながら実験的な取り組みを实践可能な空間を題材とし、ポストコロナ時代を見据えた「はなれてつなぐ」アイデアを募集し、かつすぐれた案の実現をサポートするとともに、その案の実効性を評価することを目的としています。空間デザイン(A部門)だけでなく、社会的距離を保ちつつ良好なオープンスペースを実現するための機械・電気電子・応用化学・情報系あるいはそれらの融合等の技術的な提案(B部門)も募集します。

対象空間

神戸大学工学部自然科学3号館南側のオープンスペース

審査部門

A部門:空間デザイン部門/B部門:技術提案部門

賞

- ・A部門 最優秀賞(1点) 佳作(数点)
- ・B部門 最優秀賞(1点) 佳作(数点)

最優秀賞には、案の実現のためA部門25万円B部門10万円を支給します。

提出物

- ・提出物の解像度は350pi以上とします。
- ・A部門:コンセプト、図面、パース、写真等をA1サイズ1枚(pdf形式)にまとめて下さい。
- ・B部門:コンセプト、提案技術を説明する文章と図等をA3サイズ1枚(pdf形式)にまとめて下さい。
- ・両部門とも、下記URLからダウンロードした応募票を添付下さい。
<http://www.research.kobe-u.ac.jp/eng-glec/form.xls>

提出方法と締切

提出物を保存したDVDまたはCDのディスクを下記宛先に送付下さい(2020年9月7日必着)。印刷物は不要ですが、応募票のみ印刷したものを封入下さい。

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学工学部グラフィクスリテラシー教育研究センター
公開コンペ担当

応募資格

神戸大学の学部生、大学院生であり、各部門で最優秀賞を受賞した場合に提案した案を実現可能な個人・または団体。

その他

- ・A案、B案ともに「実現性が高いもの」及び「実現性は高くないがアイデアとして評価できるもの」の双方を評価しますが、最優秀賞は実現性を重視します。実現性の高い案を提案する場合は、提出物の中に費用案を含めて下さい。
- ・ポストコロナ時代の「はなれてつなぐ」ためのデザイン・技術としての普遍性と同時に、対象空間の特殊条件との整合性も評価します。
- ・提出された案の著作権は提出者に帰属します。ただし、主催者及び工学研究科がホームページ等の各種の媒体への掲載・展示などで用いる場合は無償で作品データ等の利用を認めるものとします。

審査発表

9月30日に下記URLのページで発表します。

<http://www.research.kobe-u.ac.jp/eng-glec/>

審査委員

A部門: 遠藤秀平、大村直人、小池淳司、多賀謙蔵、長坂一郎、栗山尚子、中江研、浅井保、祇園景子
B部門: 磯野吉正、北村雅季、阪上公博、黒木修隆、鈴木広隆、高田暁、山邊友一郎

問い合わせ先

eng-glec@research.kobe-u.ac.jp

主催

神戸大学工学部グラフィクスリテラシー教育研究センター